

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 27 年 4 月 23 日 (2015.4.23)

【公表番号】特表 2014-517462 (P2014-517462A)  
 【公表日】平成 26 年 7 月 17 日 (2014.7.17)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-038  
 【出願番号】特願 2014-510538 (P2014-510538)  
 【国際特許分類】

H 0 1 R 13/639 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 R 13/639 A

【誤訳訂正書】  
 【提出日】平成 27 年 3 月 2 日 (2015.3.2)  
 【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲  
 【訂正対象項目名】全文  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

ポケットを有する筐体と、  
 該筐体によって支持される端子であって、前記ポケットと位置合わせされたアパーチャを含む、端子と、  
 前記ポケット内に位置付けられるボールであって、磁石またはフェライト系材料のうちの 1 つである、ボールと、を備える、コネクタであって、  
 前記端子は前記ボールを前記ポケット内に拘止するように構成され、前記ボールは、前記アパーチャを通して部分的に延びるように存在することができるようにサイズ決めされ、前記ボールは、磁界に応じて前記アパーチャを通して部分的に延びるように存在するように構成され、前記端子は、前記アパーチャ内に位置付けられる指部を含み、前記ボールが前記アパーチャを通して延びるように存在するとき、前記指部は曲がって前記ボールとの接触を維持するように構成される、コネクタ。

【請求項 2】

前記端子は、前記ボールが前記アパーチャを通して延びるように存在するとき、屈曲するように構成される、請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 3】

ポケットを含む第 1 の筐体と、  
 該筐体によって支持されるアパーチャを有する第 1 の端子であって、前記アパーチャが前記ポケットと位置合わせされた、第 1 の端子と、  
 前記ポケット内に位置付けられるボールと、  
 第 2 の筐体と、  
 該第 2 の筐体によって支持される接点と、  
 該接点と位置合わせされた磁気吸引乃至磁気被吸引部材と、を備える、コネクタシステムであって、前記ボールおよび前記磁気吸引乃至磁気被吸引部材のうちの少なくとも 1 つは磁石であり、もう一方は磁石およびフェライト系材料のうちの 1 つであり、前記第 1 の筐体は、前記アパーチャが前記接点と位置合わせされ、前記ボールが前記磁気吸引乃至磁気被吸引部材に吸引されるように、前記第 2 の筐体に隣接して位置付けられ、その結果、電気接続が前記端子と前記接点との間で形成され、前記端子は、前記アパーチャ内に位置付けられる指部を含み、該指部は曲がって前記端子と前記ボールとの間の電気接触を維持

するように構成される、コネクタシステム。

【請求項 4】

前記ボールは磁石である、請求項3に記載のコネクタシステム。

【請求項 5】

前記端子は、前記接点に向かって屈曲するように構成される、請求項3に記載のコネクタシステム。

【請求項 6】

前記ボールは磁石である、請求項 1 に記載のコネクタ。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 1】

関連出願

本出願は、2 0 1 1年 5 月 1 3 日に出願された、米国仮特許出願第 6 1 / 4 8 6 0 9 4 号に対する優先権を主張し、参照することによりその全体が本明細書に組み込まれる。